

平成29年度 神戸市立神港 高等学校 マネジメントプラン実施報告書

重点目標	具体的な方策（取組内容・状況）	達成状況・課題	自己評価	改善の方策	外部評価	外部評価コメント
A（1）	①観点別評価の実施に向けての取組	・評価方法を工夫した。 ・観点別評価については他校の状況を確認し資料を集めた。	3.1	・観点別評価の全面実施に向けて、評価方法の学校全体で研修と検証が必要である。	3.5	・神港橋高校と評価規準について協議ができればもっと観点別評価が充実したと思う。 ・観点別評価は、生徒個人の優れた面を伸ばしているのが必要なことだと思う。 ・生徒の個性を伸ばすためにも教員が何を評価の観点にするのか、意識を持って教育活動に取り組むべきである。
	②わかる授業に向けての実施	・生徒の学力を考慮して量・質のバランスのとれた教材と授業内容を提供した。 ・1週間を授業公開週間と互いに授業を見学し合うことにより指導方法の向上を図った。	3.4	・教科指導法の研修とともに、教科間の連携をして質・量の向上を図る。 ・いつでも授業公開できる体制づくりが必要である。	3.9	・改善方策が実施できれば素晴らしいと思う。 ・授業公開により先生方の熱意も伝わり、生徒も緊張感を持ち授業に取り組むことができると思う。 ・神港橋高校との授業見学会・反省会は教員の意識が向上する。
A（2）-1	②商業科 ・検定試験合格者の向上 ・租税教室の開催 ・金融教育の推進 ・課題研究の促進	・各検定の合格率は例年並みであった。 ・本年度で17年目となる租税教育を実施。近畿税理士会の税理士を講師として迎え3年生対象に行った。教育現場と共同で制作した教材を用いて、効果的な租税教育が実践できた。 ・金融教育を3回実施。企業（SMBC）による金融教育を前半、後半に分けて行うとともに、兵庫県金融広報委員会による金融教育を1回行った。 ・最新のビジネス手法を取り入れることができた。	3.3	・検定合格の専門性を身に付けると同時に、商業教育を通して、資格を社会に活かせる主体性、社会性も身に付ける。 ・各セミナーと商業科目が有機的に連携を図る必要がある。	3.9	・検定に取り組むことで、精神的にも成長できると思うので挑戦して強い心を育てほしい。 ・租税教育については、神港橋高校にぜひ引き継いでいただきたい。 ・毎年検定の合格率などの高さは素晴らしいと思う。 ・学校内での教育活動だけではなく税務署、金融広報委員会などの協力を得て実社会に役立つ教育の場を与えることの大切さを感じた。継続してほしい。
	③情報処理科 ・検定取得への取組 ・行事の推進	【情報処理科】 ・全商情報処理検定1級（100%・・・2/2名） ・国家試験ITパスポート（100%・・・5/5名） ・国家試験基本情報技術者（100%・・・1/1名） ・国家試験応用情報技術者（100%・・・1/1名） ・インターンシップ 7/11～13 株式会社オメーション・クリエイト・システム 7/19～12 株式会社神戸デジタル・ラボ ・こべっこマップ（5小学校と連携・絵本：真陽物語）	3.4	・プログラム技術の向上を目指すとともに地域の貢献を目標に生徒に主体的に取り組める学習環境を整える。 ・インターンシップ、こべっこマップ等他校種との連携事業の発展を促す。 ・更新の高度な検定試験に合格することを目標にする。	4	・課題研究は、地域と生徒の協力によって実践活動が成果になっている。 ・国家試験の結果に教員と生徒の頑張りに感じた。 ・課題研究の作品の絵本「真陽物語」は大変素晴らしい出来である。 ・1月21日の神戸新聞で、ネット地図（「こども110番」地図が完成した）を読ませていただいた。小学生なども安全な生活を送るうえで、とても大切なマップである。 ・こべっこマップや絵本の取り組み等、実践的学習、評価が高い。 ・検定1級又国家試験技術者が1人出るだけでもすごいことではないかと思う。 ・困難な国家試験の資格取得、全国平均と比較して高い合格率に驚かされた。是非この高い合格率を維持してほしい。 ・学校と地域の連携はよくとれている。 ・課題研究の活動にはテーマがあり、質の高さを感じた。 ・防犯、防災教育の「震災の記憶マップ」「子供110番の家と店」、郷土教育の「神戸祇園物語」自然教育「昆虫図鑑」などの実践報告を聞き、今後も神港橋高校に継承して欲しいと感じた。
A（2）-2 進路指導の 新体制と就職 指導における 職業観の育成	①進路指導の新体制 ・副担任と進路指導部部長を兼任 ・教員の進路指導意識の向上	・進路指導部を廃止し、学年全体で進路指導部に関わり、きめ細かい指導をした。 ・検定取得のための合宿の実施と補習を充実させた。 ・閉校が生徒の進路の不利にならないような配慮をした。	3.5	・担任と副担任が生徒の進路目標を共有し、進路実現に向けた指導を実施する。 ・高大接続における大学入学選抜改革に対応する学習会が必要である。	3.5	・就職に関して全教員のサポート頑張りが嬉しい。 ・少ない先生方が全員で取り組まれた結果、素晴らしい成果が得られたように思う。 ・進路指導の新体制として学年全体で進路指導部に関わられたこと、生徒にとっては良かったと思う。 ・個々の先生が、一生懸命生徒の進学のことを考えていただき感謝している。
	②就職・進路ガイダンスの実施 ・職業観勤労観を高める指導の実施（月1回）	・就職ガイダンスを実施。（職業観・勤労観を高める指導は、中小企業家同友会・公共職業安定所の方々の協力により実施した。） ・卒業時進路満足度調査の結果、満足が90%達成をした。 ・キャリア教育全体計画を作成した。	3.5	・各ガイダンスで満足度を高める。 ・卒業時満足度調査の反省と満足度100%になる方策を考える。 ・キャリア教育の計画の実施の見直し「生きる力」に必要な資質や能力を育む。	3.7	・大学を受けられる授業内容が必要であると思う。 ・卒業時進路満足度が90%ということ、100%までなかなか難しいですが目指していけたらいいと思う。 ・キャリア教育は、非常に大切で、どの様な人生を歩むかを生徒に真剣に考えさせることは必要である。 ・人生の目標を達成できるような資質や能力を高める場を提供して欲しい。
B（1） 道徳・人権教育の 充実 規範意識を 高める マナーの 向上を図る	①行事・集会・HR等を利用し、 機会あるごとに現状及び努力目標を意識させる	・校門での登下校マナー、挨拶、制服の着こなし指導を実施した。 ・選別指導（70回生）（H27:13名 H28:8名 H29:11名） ・ポイント指導（70回生）（H27:0名 H28:11名 H29:0名） ・特別指導（校長訓戒以上）（H27:4名 H28:2名 H29:3名） ・いじめアンケート6月・1月実施一特に問題なし。 ・生徒に関する情報交換会（指導部会）をした。	3.3	・基本的な生活習慣の確立（交通ルール、登下校のマナー、制服の着こなし、挨拶）をする。 ・選別者数をさらに減少させる。 ・いじめアンケートの活用をする。 ・日常の生徒に関する情報交換をする。	4	・子供とのふれあいの基本をもとに指導され、学校をよくしたいという先生の気持ちが生徒に伝わっていたと思う。 ・人権教育についてユネスコスクールに入ってもいいのではと感じている。 ・先生方の日頃の取り組みにより、生徒たちもよい高校生活を送ることができたと思う。 ・生徒に関する情報交換会をされているという事や、いじめなども無いという生徒の生活態度は日ごろの指導の賜物だと思う。 ・指導の充実が、選別者の減少等、数字として顕著に表れている。
B（2） 部活動の 活性化	②合同チームの充実	・女子バレーボール部（県総体ベスト32） ・情報研究部（全国高等学校IT選手権 全国大会出場11位） ・書道部（全国大会出場）兵庫県総合文化祭部長賞受賞	3.3	・旧夢野中のグラウンド、プールの使用方法を検討する。 ・一部の部活動だけでなく全体の活性化を考える。 ・3校合同チームでの部活動を人間形成の学びの場として捉える。 ・活動成績を前年度よりワンランクアップする。 ・安全に配慮する。	3.9	・単独部活動等も頑張っている。 ・3校合同部活もスムーズに結果を出している。 ・練習場所も少ない中、合同チームとしてよく頑張ったと思う。 ・3校併置の中で部活動を行うことで、垣根を越えて交流ができた。
	③活動内容の充実・向上					
B（3） ボランティア 活動への 参加	④地域へのボランティア活動充実	・地域清掃活動（野球部 毎朝・女子バレー部 金曜日）を行った。	3.4	・地域清掃活動、慰問コンサートの継承をする。 ・防災グッズの販売募金と防災への取組を継承する。	3.9	・心を育てる活動だと思うので、ぜひ続けてほしい。 ・震災は防災教育の中で、受け継いでほしい。 ・東北震災6校への支援を継続され、さらにボランティア活動に力を入れていただけたらと思う。
	⑤東北被災6校への支援継続	・防災グッズ販売募金より被災東北、熊本地震被災地へ送金した。 ・神港生徒会による赤い羽根募金3,254円を兵庫共同募金へ寄付をした。				
C（1） スクール マネジメント の充実と 情報発信	①全職員でのマネジメント 各種アンケートの充実	・学校自己評価、授業アンケートの実施し、振り返りの機会を持った。 ・数値の公開をした。	3.1	・本年度で閉校するが、学校自己評価、各種アンケート集計を自己の振り返りに利用し、後発の神港橋高校に役立てる。 ・取り組みの透明化を行う。	3.7	・神港高校の振り返りを神港橋に活かしていただきたい。 ・学校の運営は、個々の教員にかかっている。学校全体を見ることが出来る広い視野を持った高い教員の意識を求めたい。マネジメントプランはその指針である。 ・新しい部活に神港の部活を活かしてほしい。 ・神港高校の伝統をぜひ神港橋高校に役立てていただきたい。
C（2） 中学校への 広報活動の 充実	①Webページによる情報発信	・50件更新（月4件の更新）をした。	3.0	・閉校まで、特色ある行事や活動をWebページにリアルタイムでタイムリーに公開する。	3.9	・いつもホームページは拝見している。更新も行事ごとに最新の情報が得れるので重宝している。 ・閉校の折、アクセスが増えたのは神港高校へ関心の高さであった。それによく対応した内容であった。
	③部活動による連携 ④生徒会による連携	・流通科学大学との連携により、書道部、美術部の生徒作品を文化祭にて出展した。ダンス部が神戸まつりに参加し地域に貢献した。	3.1	・ボランティア活動において、生徒が主体的な活動ができるようにサポートを行う。 ・生徒自身の成長と地域のニーズに貢献する活動を考える。	3.5	・人に対する思いやりをボランティア等で学べるので続けてほしい。 ・ボランティア活動を多くして、社会への貢献を望む。 ・地域との連携はなにより大切だと思う。 ・地域の住人に愛されるためにも「挨拶」「マナー」は、大切である。朝の生徒のボランティアの清掃活動には、感謝している。
C（4） 閉校に向けて	①生徒活動の配慮 ②安心して学べる教育の環境 体制作り	・三校合同行事（歓迎行事、体育祭、文化祭）の実施した。 ・同窓会、保護者会の会議での学校方針の理解と協力体制作りをした。	3.5	・神港高校の伝統の継承を具体的に考える。 ・神港橋高校同窓会の具体的な連携を考える。	3.7	・3校合同の体育大会等も参加させていただいたが、3校とも大変仲良くやっていた思いがした。 ・3校併置は大変な状況であるがマイナス面ばかりでなく、他校との連携や刺激を考えるとプラス面も多いうことが理解できた。 ・今後の神港橋高校として、神港高校の伝統を活かされることになにより大切だと思う。
	スクールマネジメントについて	・各部、学年団によるマネジメントプランの作成を行った。	3.2	・プランを作成することにより、教員の学校運営への参加の意識を高める。 ・神港橋高校へ本校の伝統の継承を提言をする。	3.7	・大変学校が良くなってきた。生徒を理解に努めた教員の丁寧な指導のおかげである。 ・神港高校の伝統を神港橋高校にぜひ引き継いでいただきたい。 ・今後の神港橋高校に神港高校の伝統を活かされることになにより大切だと思う。

4: 達成できた  
3: ほぼ達成できた  
2: あまり達成できなかった

4: 自己評価及び改善の方策は適当である  
3: 自己評価及び改善の方策は概ね適当である  
2: 自己評価及び改善の方策は適当でない